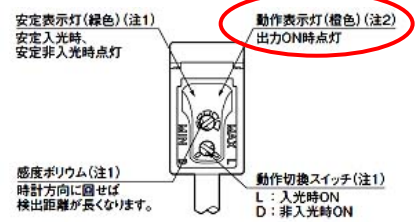


【電源表示灯】

■ 電源表示灯とは？

- 透過型ビームセンサ(コの字型ビームセンサ、コの字型マイクロフォトセンサを除く)の一部の機種種の投光器に装備されており、投光器に規定の電力が供給され**通電された時に電源表示灯が点灯**します。
(すべての透過型ビームセンサに装備されているわけではありません。)
- 透過型ビームセンサの受光器、ミラー反射型ビームセンサ、拡散反射型ビームセンサには電源表示灯は装備されていません。これらの機種には動作表示灯、安定表示灯が装備されています。
- 電源表示灯の表示色は、基本として**緑色**となっています。
(以前は赤色でしたが、赤色は“危険”という認識があるため、最近では採用されません。
ただし、旧商品で一部、赤色になっている商品があります。)



(注1):透過型の投光器には、装備されていません。
(注2):透過型の投光器は、電源表示灯(緑色、通電時点灯)になります。

CX-400シリーズ 各部の名称

■ 電源表示灯(仕様)の事例

- 小型ビームセンサCX-400シリーズの透過型には、投光器に電源表示灯が装備されています。なお、受光器には動作表示灯、安定表示灯が装備されています。

種 類	透 過 型	ミラー反射型								拡散反射型			
		長距離			狭視野	長距離	透明体検出用			狭視野			
項目	型 式 名	CX-411	CX-412	CX-413	CX-491	CX-493	CX-481	CX-483	CX-482	CX-424	CX-421	CX-422	CX-423
動作表示灯	NPN出力	CX-411	CX-412	CX-413	CX-491	CX-493	CX-481	CX-483	CX-482	CX-424	CX-421	CX-422	CX-423
	PNP出力	CX-411-P	CX-412-P	CX-413-P	CX-491-P	CX-493-P	CX-481-P	CX-483-P	CX-482-P	CX-424-P	CX-421-P	CX-422-P	CX-423-P
動作表示灯		橙色LED(出力ON時点灯) 透過型は受光器に装備											
安定表示灯		緑色LED(安定入光時、安定非入光時点灯) 透過型は受光器に装備											
電源表示灯		緑色LED(通電時点灯) 投光器に装備											

- コの字型ビームセンサRT-610シリーズには動作表示灯は装備されていますが、電源表示灯は装備されていません。

種 類	コ の 字 型	マ ー ク 検 出 用						
		マ ー ク 検 出 用						
項目	型 式 名	RT-610-10	RT-610-20	RT-610-50	RT-610-10R	RT-610-20R	RT-610-10G	RT-610-20G
動作表示灯		赤色LED(入光時点灯)						

■ 電源表示灯は、トラブルシューティングの時に便利

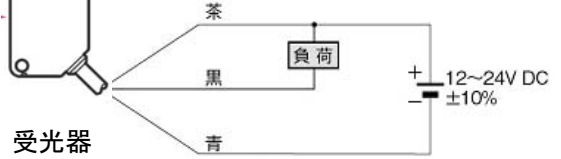
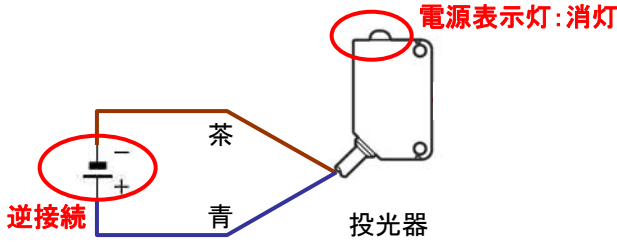
・何らかの理由でビームセンサ(光電センサ)がトラブルになった時、トラブルの原因を突き止め、復旧させる必要があります。(これを、“トラブルシューティング”と言います。)

このトラブルシューティングの際、電源表示灯はトラブルの原因をある程度特定できるため、とても便利です。

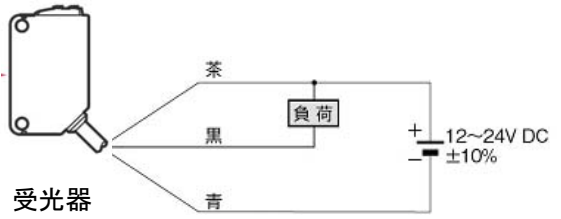
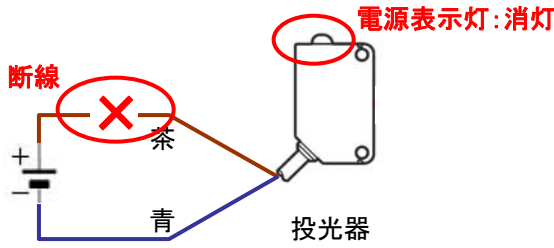
・例えば、何らかのトラブルがあった時、透過型ビームセンサの投光器の**電源表示灯が消灯**していたとします。この場合、**トラブルの原因は電源接続関係**であることがわかります。

具体的には、次のような原因が考えられます。

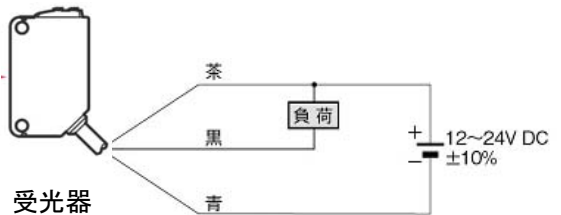
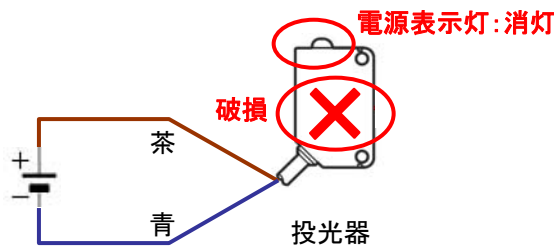
・投光器の電源が**逆接続**されている。



・投光器の配線が、**断線**している。



・投光器が、**破損**している。(注:破損の仕方によります。)



注:破損の仕方によります。例えば、投光器の内部回路は正常で、出力回路(出力トランジスタ)のみ破損している場合は、電源表示灯は消灯しません。

・上記の電源接続関係がすべて正常であるにもかかわらず、まだ、トラブルが発生している場合は、他の原因が考えられます。